

平成28年度第9回みやま市教育委員会定例会会議録

- ◆召集日時 平成28年12月15日 午後2時00分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 長岡 廣通
- ・委員 堤 央宜
- ・委員 早川 京子
- ・委員 井上 正明
- ・委員 権島 靖子

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（13名）

- ・教育部長 大津 一義
- ・学校教育課長 加藤 武美
- ・社会教育課長 野田 圭一郎
- ・指導室長 藤岡 育代
- ・学校教育課課長補佐 甲斐田 裕士
- ・社会教育課長補佐 古賀 富美子
- ・総務係長 吉川 春美
- ・学務担当係長 松尾 郁代
- ・学校給食担当係長 岡 俊幸
- ・学校再編推進係長 河野 成嗣
- ・指導室指導主事 待鳥 博人
- ・指導室指導主事 江上 靖則
- ・教育研究所長 今村 田鶴子

4. 傍聴人

- ・0名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について

- (4) 議案第15号 みやま市地域活動指導員の任命について
 - (5) 報告事項
 - (6) 次回教育委員会について
-

【午後2時00分 開会】

【教育長】 社会教育では、あいさつチャンピオン大会、県の駅伝大会、青少年育成大会と大きな事業が続いた。子供会カルタ大会、人権ミュージカルも盛況であった。県営プールは非常に立派な施設が出来上がり、先日竣工式が行われたが、高齢者も含めてみやま市民が利用しやすい体制が取れるように願っている。校長面談では、各校長が非常に前向きに重点課題の達成と裾野教育の実践化に取り組んでいることが伺えた。

○日程第1 第9回みやま市教育委員会定例会の会期は平成28年12月15日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は総務係長吉川春美とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については教育長と早川京子委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 議案第15号 みやま市地域活動指導員の任命について

【社会教育課長】 — 提案理由の説明 —

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

「質疑なし」

【教育長】 ・原案通り可決するものとしてよろしいか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第5 報告事項

○教育部長

【教育部長】 (先月の定例会以降、次回定例会までの行事について)

- 11/16 南筑後地区小学校長研究大会、11/19.20 はまるごとみやま秋穫際、11/30 南筑後地区教育委員会連絡協議会研修会と、委員の皆様方にはご多忙の中に出席頂きお礼申し上げます。
- 11/21 豊後高田市教育委員会より視察来庁、本市の教育施策や学校の統廃合等について意見交換。
- 11/29 福教大の森保之教授を講師に市内の校長を対象としたコミュニティスクール研修会を実施。学校支援地域本部と併せて、来年度からの試行に向けて準備を進めている。
- 定例市議会は、明日が最終日・閉会。
- 12/22 終業式と 1/10 始業式は、台風による休校等の授業時数確保のため給食を提供し6時間授業を実施する。

○学校教育課

【学校教育課長】

- 前回の教育委員会で、樺島委員より県の学校給食コンクール入賞メニューを、学校給食に活用するようにとのご意見を頂いていた。お手元に平成28年6月の献立表を配布しているが、21日の具沢山スープは平成27年度県の学校給食コンクール入賞メニューである。今年度の入賞作品についてもこのような形で次年度に提供したいと考えている。

【学校再編推進係長】

- 本郷小学校の下庄小学校への編入に係る要望のうち、5月に回答保留としていた2点について、11/22に区長との事前協議の上、11/25開催の本郷小PTA臨時総会にて以下の通り回答した。
 1. 街灯を増やして作出交差点から下庄小学校までを通学路とする。
 - 街灯は増やさないが、本郷校区における児童見守り対策を実施することを前提に、同都市計画道路について徒歩通学路として設定する。
 2. スクールバスを出す。
 - 幸作橋以北に居住する児童で希望する者全てにスクールバスによる送迎を実施する。

—以上2点は、編入に伴う暫定措置として実施し、今後上庄小学校含めた3校統合について協議するときは見直しを行う。その際スクールバスについては桜舞館における遠距離対策の通学距離2.5kmを基準とする。—

【学校教育課長補佐兼施設係長】

- 岩田小学校で防空壕跡が陥没しているが、業者による対応が年明けになりそうだ。

普段児童たちが通らないところではあるが、カラーコーンと安全バーで柵を設け、学校からの児童への注意喚起を徹底して頂いているので、安全面では問題ないと考えている。

【学校給食担当係長】

- ・ 1/13 市の学校給食会主催による実践交流会参加のご案内。

○指導室

【指導室長】

- ・ 10/5 に台風で中止になった筑後地区道徳教育研究発表会が、柳川・みやま両道徳研究会主催で12/8に開催され、盛会裏に終わったことを報告。
- ・ 適応指導教室「さくら」の相談・利用状況報告。

【教育長】・これまでのところで何かありませんか。

【樺島委員】・心のレスキュー隊について教えてください。

【待鳥主事】・南筑後教育事務所のスクールカウンセラー（スーパーバイザー）が小学校を対象に巡回し、不登校気味の児童や、悩みを抱えている児童についての聞き取りや面談・指導をするシステムの事で、昨年度から実施ししている。現在スクールカウンセラーが中学校に配置され、小学校の相談も受けるという事になっているが、なかなか小学校まで手が回らないことから始まったという経緯がある。

【樺島委員】・希望ではなく全小学校を巡回するのか、相談はあるのか。

【指導室長】・割り振って年間2回ほど全小学校を巡回される。相談は勿論、保護者や児童との面談、観察、担任が相談に乗るなどしている。

【早川委員】・現在さくらの利用は中学生が多いようだが、自転車で通っているのか。

【指導室長】・雨の日は保護者の送迎があるが、基本的に全員自転車である。

【井上委員】・相談の中に「中一でいじめを受けて」とあるが、これについて教育委員会での報告は行なっているか。どのようないじめがあったのか。

【待鳥主事】・祖母からの電話でそのような発言があっているが、学校・教育委員会ともにいじめがあったとの認識にはない。

【井上委員】・教育委員会の資料に「いじめを受けた」とあるのだから、きちんと調査をしたうえでの表記でないのか。

【指導室長】・ここにはあくまで相談を受けた内容を記載しているという事でご理解いただきたい。

【井上委員】・このことについて調査はしたのか。

【指導室長】・先程待鳥指導主事が報告した通り、調査の結果いじめはなかったと判断している。

【教育長】・相談内容とそれに対する調査結果まで補足して記載する必要があるのではないか。

【指導室長】・次回からは説明時にそのような補足説明を加えるようにしたい。ご指摘ありがとうございました。

○社会教育課

【社会教育課長】

(行事の報告と今後の予定)

- ・ 11/19 あいさつチャンピオン大会には、市内小学校 80 名が参加、決勝進出 10 名のうち 6 名が 50 点満点を獲得し、審査員による最終審査でチャンピオンを決定した。
- ・ 11/20 第 3 回福岡駅伝大会が筑後広域公園で開催された。みやま市から 1 チーム (18 名) が参加し 60 チーム中 40 位。
- ・ 11/23 体育協会主催もみじウォークには、市内 117 名、市外 390 名、全体では昨年より 150 名ほど多い 507 名が参加。
- ・ 11/27 青少年健全育成大会を開催、少年の主張では 6 名の小学生と 2 名の中学生がそれぞれの思いを発表した。
- ・ 12/4 市の人権啓発公演会として開催した、地域参加型ミュージカル (開小学校校長・児童、山門高校生徒などが出演)「ハッピーバースデイ」は 400 名が鑑賞し、アンケート結果も好評であった。
- ・ 12/18 みやま市駅伝大会、1/8 みやま市成人式のご案内。

【教育長】・全体を通して何かありませんか。

【樺島委員】・先程のカウンセラーの話に戻るが、いじめや不登校については、なるべく早く対応する必要があると考えますので、小学校に要相談者がいるのであれば、小学校にも市独自でもカウンセラーを置く必要があるのではないかと。

【指導室長】・現在小学校では、中学校のスクールカウンセラーを必要に応じて活用している。樺島委員のご指摘通りニーズが増えている状況ではあり、配置が叶えばよいが、予算の関係もある。心のレスキュー隊は県の予算で南筑後教育事務所が取りまとめている。

【樺島委員】・小学校から対応しておけば中学校が楽になる。また、継続した対応が必要なことから、年2回では不十分ではないかと思うがどうか。

【指導室長】・必要な場合には継続して対応して頂いているが、事業自体は期間限定であったかと思う。

【待鳥主事】・具体的に期限は示されていないが、数年での打ち切りも考えられる。

【教育長】・現在は市のスクールカウンセラーを各中学校に配置し、その校区の小学校も相談できるシステムになっている。スーパーバイザーも3名おり、割合に手厚い配置だと思っているが、樺島委員さんのご指摘通り早期発見、早期対応は非常に大事なことである。まずは小学校がしっかりアンテナを張っておくことが大切であると思っている。

【樺島委員】・SSWの活動状況は把握しているのか。

【学務担当係長】・活動状況は学期ごとに教育委員会へ報告を頂いている。もうすぐ2学期の報告が出揃うが、昨年と比べて相談件数は増えている。

【樺島委員】・やはり中学校の件数が多いのか。

【学務担当係長】・中学校が多いが、小学校にもしっかり関わりを持ってもらっている。

【指導室長】・SSWは家庭にも入るので、兄弟で小学校・中学校に跨る場合も多い。

【教育長】・市で予算をかけて配置したSSWなので、小学校・中学校両方で十分に活用して頂きたい。まずは校長・教頭への認知度である。ご意見踏まえ総じて考えると、「子供のSOSを早急に察知して救うためのネットワークをどれだけ張れるか」「誰をキーマンにするのか」といった校長の経営力が重要である。SSWの活動状況については、委員さん方へ後日資料を差し上げたい。

【井上委員】・福島からの転校者へのいじめ問題が小学校の時から起きていたという事を考えれば、樺島委員さんのご意見の通り、小学校の相談の窓口の整備など早期対応が必要なことだと思うのが一つある。もう一つはこの問題を福島からの転校に特化した問題と捉えるのか、従来からのいじめの問題として捉えて対策を考えていくのか、みやま市としての考えを伺いたい。

【指導室長】・いじめ防止については、日ごろから各学校で早期発見・早期対応のための基本方針を立てて実践している。教育委員会では教育相談やアンケート実施が計画通りに実施されているかの見届け、校長会での指導などを行っている。いじめに対する認知については、学校のアンテナも随分高くなって来ていると感じている。

【待鳥主事】・いじめ問題については、定例校長会で必ず早期発見早期解決を喚起しているほか、毎月1回実施しているいじめに関するアンケートを学期に1回は無記名で行うこと、福岡県いじめ問題総合対策に則った、相談ポストの設置、教育相談週間の定例化（学期に一回）等についても指導している。

【教育長】・いじめの認知件数が増えたことについて県ではプラスマイナスの評価をしている。教育長会でも、いじめを見逃さないシステムが整備されたのか、本当にいじめが増えたのかの判断が難しいという話が出ていた。教師の指導や友達同志の叱咤との境目も分かりにくいといったところもある。

【井上委員】・本年4月から障害者差別解消法が施行されたが、みやま市の小中学校で、施設設備において配慮している事例は何件ほどあるのか。

【指導室長】・施設設備に関しての配慮は1件である。

○日程6 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 平成29年1月13日（金）午後1時30分～
まいピア高田 第1会議室

【教育長】 これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。平成28年度第9回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午後2時44分 閉会】